DENON

プリメインアンプ

PMA-390AE

取扱説明書

安全にお使いいただくために一必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

【絵表示の例】

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

■ 安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

電源プラグをコンセントから抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ACアウトレットのご使用は表示供給電力内で

接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。
また供給電力内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアードライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。

雷が鳴り出したら

電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 警告 つづき

■ 安全上お守りいただきたいこと

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

■ 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水場での
使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

■ 安全上お守りいただきたいこと

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のケーブルを使用してください。指定以外のケーブルを使用したり、ケーブルを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ 置き場所について

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

《ご使用になる前に》

注意 つづき

■ 置き場所について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■ 取り扱いについて

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルなど外部の接続ケーブルを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 使わないときは

長期間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■ お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

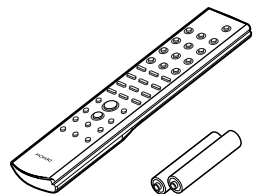
5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

総目次

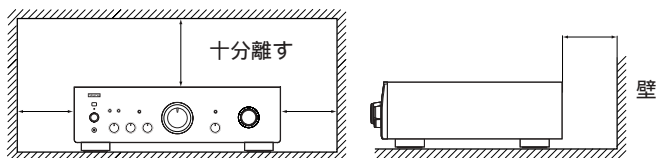
付属品について

ご使用の前にご確認ください。

リモコン（RC-1022)…1個 単4形乾電池……………2本	取扱説明書(本書）……1冊 製品のご相談と修理・ サービス窓口一覧表 …1枚 保証書【梱包箱に添付】

取り扱い上のご注意

設置の際のご注意

◎ 放熱のため、本機の天面、後面および 両側面と壁や他のAV機器などとは十分に離して設置してください。

※十分離す
※
※
※
壁

携帯電話使用時のご注意

◎ 本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音（ノイズ）が入ることがあります。携帯電話は本機から離れた位置でお使いください。

お手入れについて

◎ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

◎ ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

メモ

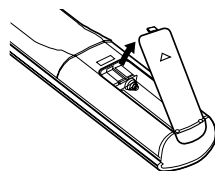
- 本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

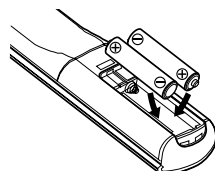
リモコンについて

このリモコンでは、DENON製品のCDプレーヤー、テープデッキおよびチューナーの操作ができます。

※ 一部操作ができない製品もあります。

乾電池の入れかた

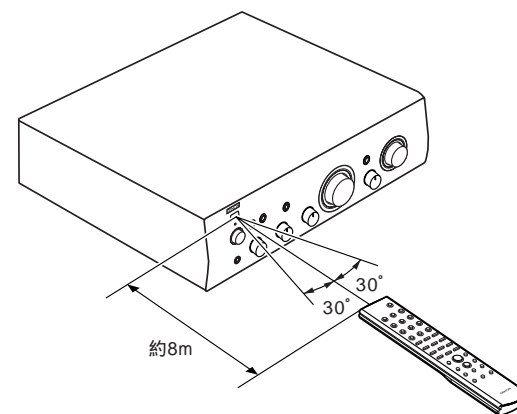
① 矢印のように押して引き上げます。

② 単4形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。

③ 裏ぶたを元通りにしてください。

乾電池についてのご注意

- リモコンには単4形乾電池をご使用ください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。）
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱、または火に投入したりしないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

リモコンの使いかた

- リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。
- 左右30 °までの範囲で約8m離れたところまで使用できます。

30°
30°
約8m

ご注意

リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。

保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

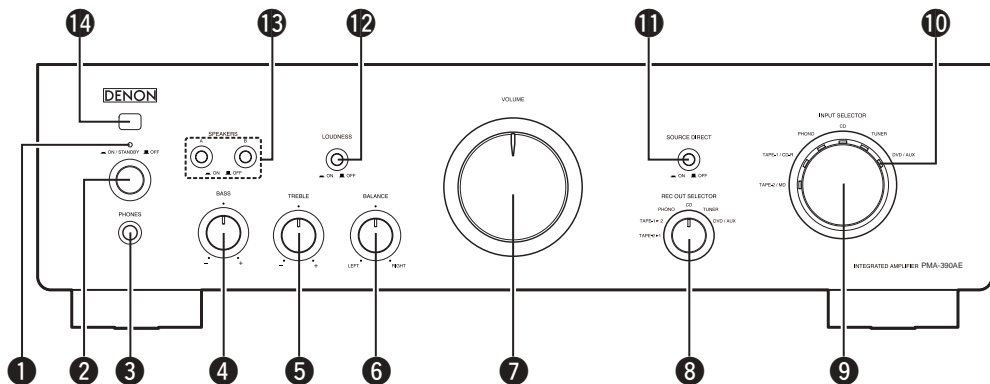
※本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

ステレオ音のエチケット

音のエチケット

- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

各部の名前について

フロントパネル

❶ 電源表示
- 本機の状態により次のように変わります。
  - ・電源ON後数秒間：　赤色（点滅）
  - ・電源ON時：　緑色
  - ・スタンバイ時：　赤色
  - ・電源OFF時：　消灯

❷ 電源ボタン
（▬ON/STANDBY　▇OFF）
- “▬ ON/STANDBY ”にすると電源が入り、“▇ OFF ”にすると電源が切れます。

❸ ヘッドホンジャック（PHONES）

❹ 低音調節つまみ（BASS）

❺ 高音調節つまみ（TREBLE）

❻ バランス調節つまみ（BALANCE）

❼ 音量調節つまみ（VOLUME）

❽ 録音出力切り替えつまみ
（REC OUT SELECTOR）
- 2台の録音機器間でコピーするとき、または録音出力（REC）端子に出力するソースを選択します。

❾ 入力切り替えつまみ
（INPUT SELECTOR）
- 再生するソースを選択します。

❿ 入力表示
- 入力ソースの表示が橙色に点灯します。

⓫ ソースダイレクトボタン
（SOURCE DIRECT）
- “▬ ON ”にすると、信号は音質調節回路（低音/高音/バランス/ラウドネス）を通らないため、より高音質な再生ができます。
- “▇ OFF ”にした場合は、お好みの音質に調節することができます。

⓬ ラウドネスボタン（LOUDNESS）
- 小音量で聞くときに“▬ ON ”にすると、小音量で聞こえにくくなる低音と高音が増強されて自然な感じで聞くことができます。

⓭ スピーカー切り替えボタン
（SPEAKERS A/B）
- A（またはB）を“▬ ON ”にした場合は、スピーカー出力端子A（またはB）に接続されたスピーカーから音が出ます。
- AとBを共に“▬ ON ”にした場合は、スピーカー出力端子AとBに接続されたスピーカーから音が出ます。
- AとBを共に“▇ OFF ”にすると、スピーカーからは音が出ません。ヘッドホンでお楽しみいただくときにご利用ください。

⓮ リモコン受光部

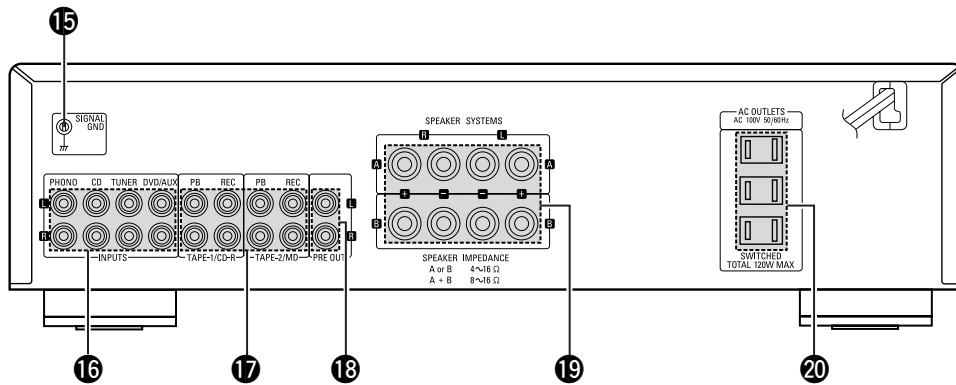
メモ

- **音量調節つまみ**が中央より右側にあるとき、**低音調節つまみ**または**高音調節つまみ**で可変できる範囲は減少します。
- **音量調節つまみ**を右に回し切ると、低音・高音とも可変できなくなります。

ご注意

❹❺❻⓬は、**ソースダイレクトボタン**を“ ▀ OFF ”にしたときに機能します。

リアパネル

⓯ SIGNAL GND
PHONO CD TUNER DVD/AUX PB REC PB REC
INPUTS TAPE-1/CD-R TAPE-2/MD PRE OUT
SPEAKER SYSTEMS
SPEAKER IMPEDANCE A or B 4∼16 Ω A + B 8∼16 Ω
AC OUTLETS AC 100V 50/60Hz
SWITCHED TOTAL 120W MAX
⓰ ⓱ ⓲ ⓳ ⓴

⓯ アース端子（SIGNAL GND）
- レコードプレーヤーのアース線を接続します。

ご注意

この端子は安全アースではありません。

⓰ 入力端子（INPUTS）
- 再生機器を接続します。

⓱ 録音入出力端子（TAPE-1/CD-R, TAPE-2/MD）
- 録音機器を接続します。

⓲ プリアウト端子（PRE OUT）
- パワーアンプやサブウーハーなどを増設するときに使用します。

⓳ スピーカー端子（SPEAKER SYSTEMS）
- スピーカーを接続します。

⓴ ACアウトレット（AC OUTLETS）
- 他のオーディオ機器の電源コンセントとしてご利用ください。

メモ

- PHONO入力端子にはショートピンプラグが付属しています。レコードプレーヤーを接続する際は外してください。外したショートピンプラグは大切に保管してください。
- プリアウト端子はヘッドホン使用時にも信号が出力されます。信号を遮断したい場合は、接続した機器（パワーアンプなど）で操作してください。

ご注意

録音出力（REC）端子やプリアウト端子には絶対にショートピンプラグは挿入しないでください。故障の原因になります。

リモコン

アンプ操作ボタン

電源ボタン（POWER）
本体の電源を操作します。

入力ソース切り替えボタン
入力ソースを切り替えます。

音量調節ボタン（VOLUME +/−）
音量を調節します。

ミューティングボタン（MUTING）
押すと消音します。本体の電源表示が赤色に点滅します。もう一度押すと、音が出ます。

DENON製品の操作ボタン

CDプレーヤーブロック

0～9, +10	：番号ボタン
REPEAT	：くり返し再生
RANDOM	：ランダム再生
⏮, ⏭	：頭出し
▶	：再生
❚❚	：一時停止
■	：停止

チューナーブロック

TUNER PRESET ▲, ▼：
プリセットされたチャンネルを切り替えます。

CDプレーヤーブロック

DISC SKIP：
ディスクを選択します。

テープデッキブロック

◀◀	：巻き戻し
▶▶	：早送り
◀	：逆方向再生
▶	：正方向再生
A/B	：ダブルデッキのAデッキとBデッキの切り替え
REC	：録音
❚❚	：一時停止
■	：停止

POWER
CD
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 +10 REPEAT
RANDOM
PHONO TAPE-1 / CD-R TAPE-2 / MD
CD TUNER DVD / AUX
MUTING
TUNER PRESET
DISC SKIP
A/B REC
DECK
DENON
RC-1022

メモ

- このリモコンでは、DENON製品のCDプレーヤー/テープデッキ/チューナーの操作ができます。
- ご使用の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 一部操作ができない製品もあります。

接続のしかた

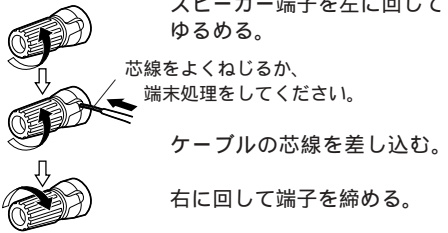
スピーカーの接続のしかた

スピーカー端子とスピーカーシステムは、必ず同じ極性（⊕と⊕、⊖と⊖）を接続してください。

スピーカーケーブルの接続

① スピーカー端子を左に回してゆるめる。

芯線をよくねじるか、端末処理をしてください。

② ケーブルの芯線を差し込む。

③ 右に回して端子を締める。

■ バナナプラグの場合

右に回して端子を締め付けてから挿入する。

ご注意

- 接続の際、スピーカーケーブルの芯線が端子からはみだして他の端子に接触しないようにしてください。またスピーカーケーブルの芯線どうし、および芯線がリアパネルやねじに接触しないようにご注意ください。故障の原因となります。
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。

■ スピーカーのインピーダンスについて

スピーカーの使用状況に応じてスピーカーのインピーダンスは次の範囲のものをお使いください。

使用スピーカー	インピーダンス
AまたはBのみ	4〜16Ω
AとBの両方	8〜16Ω

スピーカーインピーダンスのご注意

指定されたインピーダンス以下のスピーカー（例：4Ω）を使用して、長時間大音量で再生すると、温度が上昇して保護回路が動作します。

保護回路が動作すると、スピーカー出力は遮断され、電源表示が点滅します。このような場合は、電源コードをコンセントから抜いて本機が冷えるのを待ち、周囲の通風状態を良くしてください。また、スピーカーケーブルや入力ケーブルの配線を確認してください。その後、もう一度電源コードを挿入して、本機の電源を入れ直してください。

本機の周囲の通風や配線に問題がないのにも関わらず、保護回路が動作してしまう場合は、本機が故障していることも考えられますので、電源を切った上で、弊社お客様相談窓口または修理相談窓口にご連絡ください。

オーディオ機器の接続のしかた

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルを一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因になります。
- PHONO入力端子にレコードプレーヤーを接続せずに音量を上げないでください。ハムや雑音の原因となります。
  接続しない場合は、付属のショートピンプラグを差してください。

SAソース再生時のご注意

SAソース（DVDオーディオ、スーパーオーディオCDなどの可聴帯域を越える高域成分を含んでいるソース）に対応していない通常のスピーカーを接続する場合は、プレーヤー（DVDオーディオ、スーパーオーディオCDなど）の特性を通常のスピーカー（またはアンプ）に合わせて設定してください。

SAソースの再生時に音量を上げすぎると、スピーカーを損傷することがあります。プレーヤーの設定については、プレーヤーに付属の取扱説明書をご覧ください。

接続ケーブルの表示

下記に示す接続ケーブル（別売り）を使用して、他の機器を接続してください。

オーディオケーブル	信号方向
アナログ接続（ステレオ） (白) L　(赤) R ピンプラグケーブル	オーディオ信号： IN ◁ OUT　OUT ▷ IN

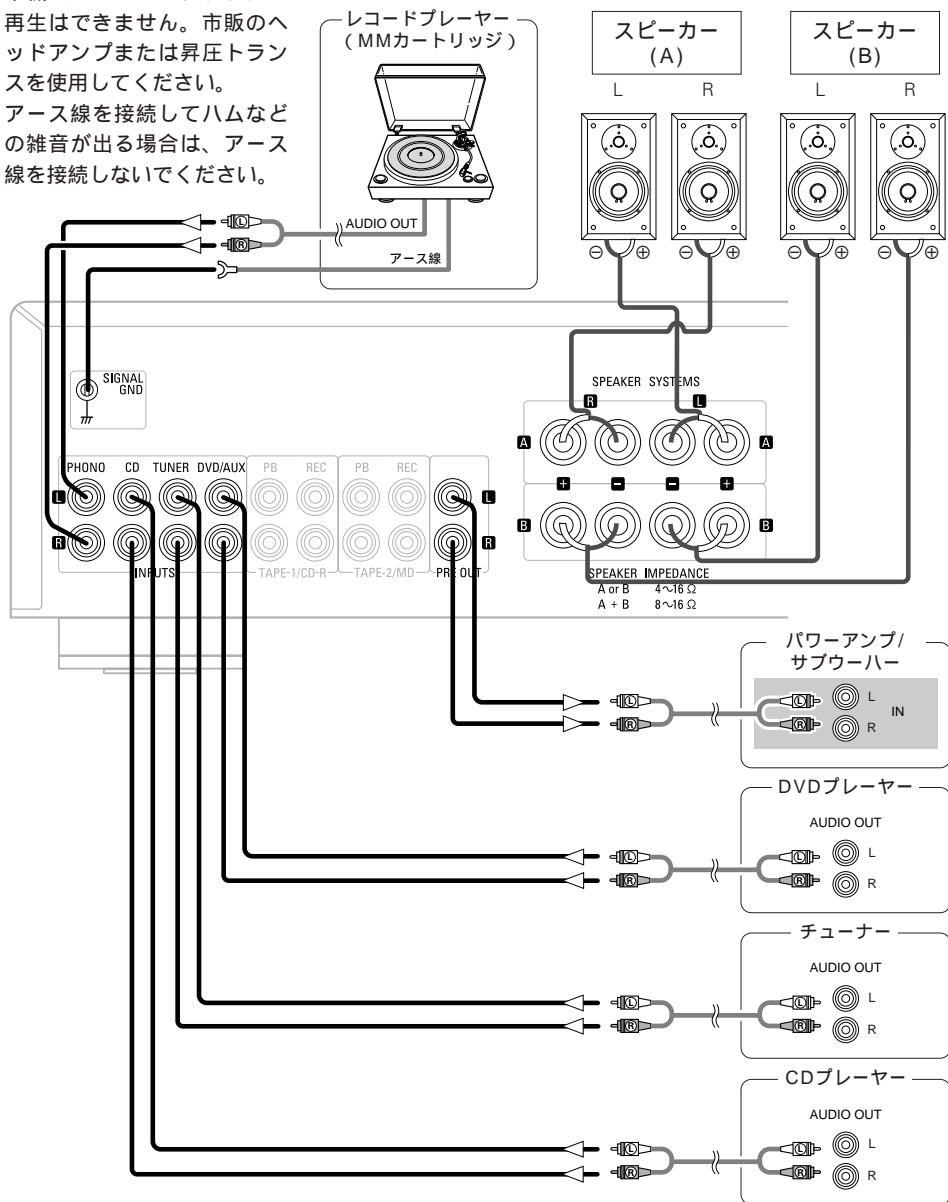
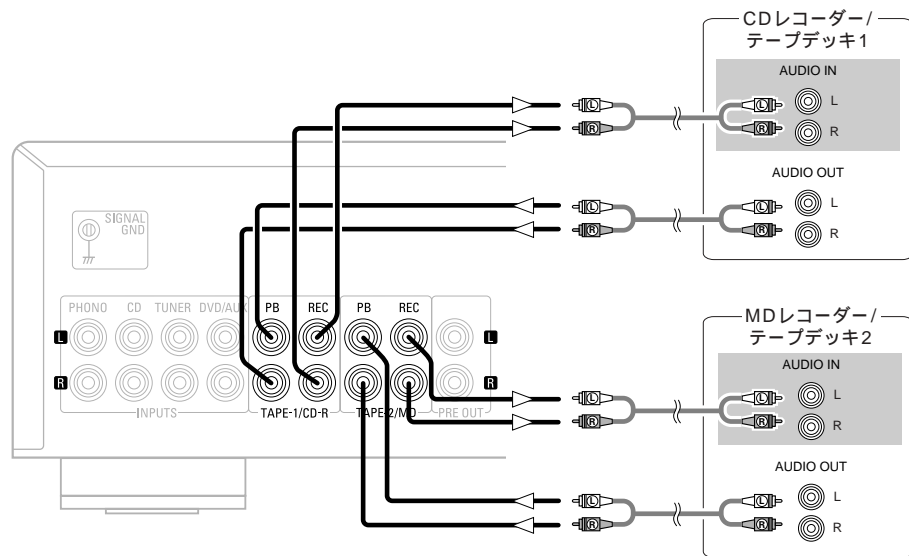
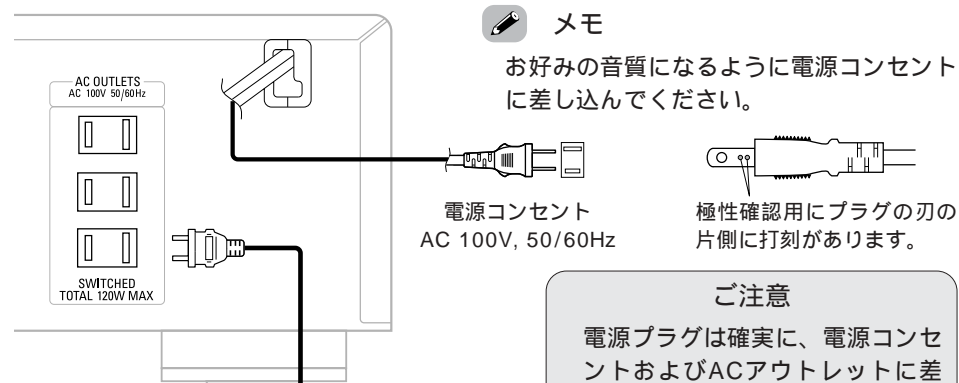
再生機器とスピーカーの接続

- 本機ではMCカートリッジの再生はできません。市販のヘッドアンプまたは昇圧トランスを使用してください。
- アース線を接続してハムなどの雑音が出る場合は、アース線を接続しないでください。

録音機器の接続

電源コードの接続

メモ

- お好みの音質になるように電源コンセントに差し込んでください。

ACアウトレットへの接続について

SWITCHED（合計容量120W）：

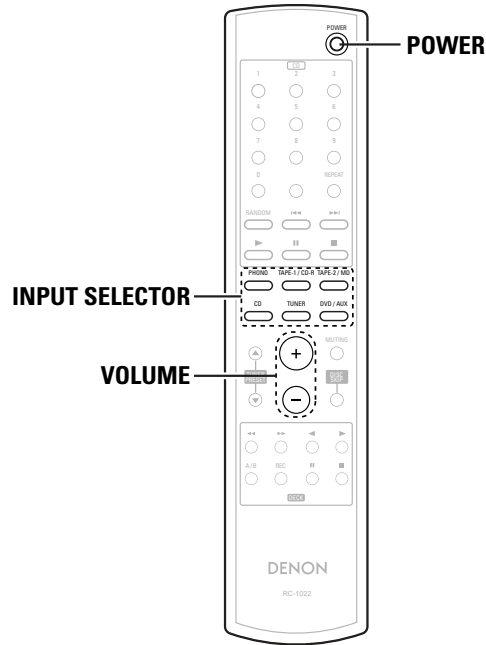
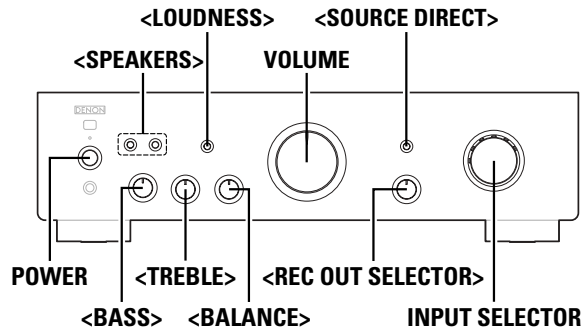
本体の電源ボタンと連動して、電源がON/OFFします。接続する機器の消費電力の合計が120Wを超えないようにしてください。

ご注意

- 電源プラグは確実に、電源コンセントおよびACアウトレットに差し込んでください。
- ACアウトレットへはオーディオ機器の電源プラグを差し込み、ドライヤーなどオーディオ機器以外の電源としては使用しないでください。

操作のしかた

<LOUDNESS> <SOURCE DIRECT>
<SPEAKERS> VOLUME
POWER <TREBLE> <REC OUT SELECTOR>
<BASS> <BALANCE> INPUT SELECTOR

POWER
INPUT SELECTOR
VOLUME

【操作説明のボタン名について】
＜　　＞：本体のボタン
［　　］：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

再生前の準備

1 **VOLUME で音量を最小にする。**

2 **＜SOURCE DIRECT＞および＜LOUDNESS＞を“■ OFF”にする。**

3 **＜BASS＞、＜TREBLE＞および＜BALANCE＞を中央の位置にする。**

4 **スピーカーを接続した端子に合わせて、＜SPEAKERS＞の A または B を押す。**

5 **POWER で電源を入れる。**
- 電源表示が数秒間赤色に点滅した後、緑色に点灯します。

再生のしかた

1 **INPUT SELECTOR で再生するソースを選ぶ。**
- ソースはTAPE-2/MD, TAPE-1/CD-R, PHONO, CD, TUNER, DVD/AUXから選びます。
- 選択されたソースの入力端子に入力される信号を再生します。
- 選択されたソースの入力表示が点灯します。

2 **選択されたソースを再生する。**

3 **VOLUME で音量を調節する。**

4 **＜BASS＞、＜TREBLE＞、＜BALANCE＞および＜LOUDNESS＞で音質を調節する。**

※音質の調節が不要なときは、＜**SOURCE DIRECT**＞を押してください。

録音のしかた

1 **＜REC OUT SELECTOR＞で録音するソースを選ぶ。**

PHONO, CD, TUNER, DVD/AUX：
録音端子に接続された機器を録音するときに選びます。

2 **録音機器を録音状態にする。**

3 **録音するソースの再生をはじめる。**

テープコピーのしかた

1 **＜REC OUT SELECTOR＞で“TAPE-1▶2”（または“TAPE-2▶1”）を選ぶ。**

TAPE-2▶1, TAPE-1▶2：
テープデッキ2からテープデッキ1（またはテープデッキ1からテープデッキ2）へコピーするときに選びます。

2 **TAPE-2/MD（またはTAPE-1/CD-R）端子に接続した機器を録音状態にする。**

3 **TAPE-1/CD-R（またはTAPE-2/MD）端子に接続した機器の再生をはじめる。**

メモ

- 録音中は、**INPUT SELECTOR** を再生ソースに合わせると録音する音声を、録音機器に合わせると録音した音声を、それぞれ聞くことができます。
- 操作する際は、機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

録音中に **INPUT SELECTOR** を操作すると、音声が途切れたり、雑音が録音されることがあります。

その他について

故障かな？と思ったら

■ 各接続は正しいですか
■ 取扱説明書に従って正しく操作していますか
■ スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　象	原　因	処　置	関連ページ
電源を入れても、電源表示が点灯せず音が出ない。	● 電源コードプラグの差し込みが不完全である。	● 電源コードプラグの差し込みを点検してください。	9
電源表示は点灯するが、音が出ない。	● スピーカーケーブルの接続が不完全である。 ● 入力切り替えつまみの位置が不適当である。 ● 音量調節つまみが最小になっている。 ● 入力ケーブルの接続が不完全である。 ● スピーカー切り替えボタンが“OFF”になっている。	● 確実に接続してください。 ● 正しい位置に切り替えてください。 ● 適当な位置まで回してください。 ● 確実に接続してください。 ● スピーカー切り替えボタンを“ON”にしてください。	8、9 6、10 6、10 9 6、10
左右のスピーカーの片側だけ音が出ない。	● スピーカーケーブルの接続が不完全である。 ● 入力ケーブルの接続が不完全である。 ● 左右のバランスがずれている。	● 確実に接続してください。 ● 確実に接続してください。 ● バランス調節つまみを正しく調節してください。	8、9 9 6
ステレオのときに、各楽器の位置が左右入れ替わっている。	● スピーカーや入力ケーブルの接続が左右逆になっている。	● 左右の接続を確かめてください。	8、9
レコード再生のときに、再生音と一緒に“ブーン”という音が出る。	● プレーヤーのアース線が外れている。 ● PHONO端子の接続が不完全である。 ● プレーヤーの近くにテレビやVTRがあるため、影響を受けている。	● 確実に接続してください。 ● 確実に接続してください。 ● 設置位置を変えてみてください。	7、9 9 －
レコード再生のときに音量を大きくすると再生音と一緒に“ワーン”という音が出る。（ハウリング現象）	● プレーヤーとスピーカーとの距離が近すぎる。 ● スピーカーの振動が床を通してプレーヤーに伝わってしまう。	● できるだけ離して設置してください。 ● スピーカーの振動をクッションなどで吸収させてください。プレーヤーにインシュレーターが付いていないときには、市販のオーディオインシュレーターを使ってください。	－ －
レコード再生のときに音がひずんで聞こえる。	● 針圧が適当でない。 ● 針先にゴミがついている。 ● カートリッジの不良。	● 正しい針圧に調整してください。 ● 針先を確かめてください。 ● カートリッジを交換してください。	－ － －

主な仕様

■ パワーアンプ部

定格出力	両チャンネル駆動（CD→SP OUT） 50W＋50W（負荷8Ω、20Hz～20kHz、T.H.D. 0.1%）
実用最大出力	100W＋100W（負荷4 Ω、EIAJ）
全高周波ひずみ率	0.01%（定格出力－3dB時）、負荷8Ω、1kHz
出力端子	スピーカー/AまたはB：負荷4～16Ω、A＋B：負荷8～16Ω ヘッドホン/ステレオヘッドホン適合

■ プリアンプ部

イコライザーアンプ出力（REC OUT端子）	定格出力　150mV	
入力感度/入力インピーダンス	PHONO（MM）	：2.5mV/47kΩ
	CD、TUNER、DVD/AUX、TAPE-1/CD-R、TAPE-2/MD	：105mV/47kΩ（ソースダイレクトオフ） 105mV/13kΩ（ソースダイレクトオン）
RIAA偏差	PHONO	：20Hz～20kHz±0.5dB

■ 総合特性

SN比（Aネットワーク）	PHONO（MM）	：86dB（入力端子短絡、入力信号5mV時）
	CD、TUNER、DVD/AUX、TAPE-1/CD-R、TAPE-2/MD	：107dB（入力端子短絡時）
トーン・コントロール	BASS（低域）	：100Hz±8dB
	TREBLE（高域）	：10kHz±8dB
ラウドネス		：100Hz＋6dB、10KHz＋6dB

■ 総合

ACアウトレット	SWITCHED（連動）3個　合計容量120W
電源	AC 100V　50/60Hz
消費電力	150W（電気用品安全法による） 0.2W未満（スタンバイ時）
最大外形寸法	434（幅）×121（高さ）×337（奥行き）mm （フット、つまみ、端子を含む）
質量	7.1 kg

■ リモコン（RC-1022）

リモコン方式	赤外線パルス式
電源	DC3V 単4形（R03）乾電池2本使用
外形寸法	49（幅）×220（高さ）×21（奥行き）mm
質量	120g（乾電池を含む）

※ EIAJ：（社）電子情報技術産業協会（略称：JEITA）が制定した規格です。

株式会社デノンコンシューマーマーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：03-6731-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30〜12：00、12：45〜17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のためにご記入しておいてください。

購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in Japan　00D 511 4444 007